この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

中国銀行

NEWS RELEASE

２０２６年１１月９日
株式会社 中国銀行

個人向けアプリへの FIDO 認証の共同導入
～TSUBASA アライアンスの共同施策として安全性と利便性の向上を推進～

中国銀行（岡山市 頭取 加藤 貞則）は、TSUBASA アライアンス※1 における共同施策の一環として、個人向けアプリのセキュリティ強化を目的とした FIDO 認証※2 の導入を決定しましたので、お知らせします。

近年、金融機関を狙ったサイバー犯罪が高度化・巧妙化しており、強固な認証基盤の整備が重要な課題となっています。本施策に参加する各行は、お客さまにデジタルサービスを安全・安心にご利用いただくため、FIDO 認証基盤を共同で構築・利用します。個別に構築する場合と比べ、より効率的なセキュリティ対策を実現するとともに、サイバーセキュリティ水準の向上を図ります。

FIDO 認証を導入することで、お客さまは振込時に従来必要としていたワンタイムパスワード（OTP）の入力が不要となるなど、既存の OTP も活用しながら、より強固な認証方法の選択肢を拡充します。また、振込時にトランザクション認証を利用することで、振込内容の改ざんによる不正送金リスクの低減を図ります。

当行は今後も、TSUBASA アライアンス参加行との連携を通じて、お客さまに安全・安心かつ便利にデジタルサービスをご利用いただける環境の整備に取組んでまいります。

※1 中国銀行、千葉銀行、第四北越銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の１０行が参加する地銀広域連携の枠組み。（URL：https://tsubasa-al.co.jp）

※2 スマートフォンの指紋認証や顔認証などを利用し、公開鍵暗号技術により安全に本人確認を行う認証方式。パスワードの入力が不要となり、安全性と利便性を両立できる。

以　上

本件に関するお問い合わせ先（ＴＥＬ　０８６－２２３－３１１１）
デジタル・リテール営業部　　北　田（０８０－５４０７－２６９７）
広報センター　　岡　嶋（内線２２５５）